

視点1 持続的成長を支える魅力ある拠点

■ 事業実績	■ 政策指標	■ 政策指標の解説
<p>大田区観光情報センター利用者数 現状値：<u>69,648</u>人/年（令和元年度） <u>35,374</u>人/年（令和3年度） 目標値：<u>70,000</u>人/年（令和8年度）</p> <p>観光案内サインの設置数 現状値：<u>56</u>件（令和4年度）</p>	<p>【参考指標】 国際交流・多文化共生が進んだまちだと感じている区民の割合 現状値：<u>24.2%</u>（令和3年度） 目標値：<u>30%</u>（令和8年度）</p>	<p>【目標設定根拠】 平成30年度と令和3年度の世論調査から、3年間で約4%減少している状況の回復に向け、1年で1%増を目指し設定した目標</p> <p>【引用した計画類】 第2期大田区まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p>【目標達成で得られる便益】 ・日本人、外国人を意識せず、地域の中で安心かつ快適に暮らせるまちの進展</p>
<p>地域にぎわい事業参加者数 現状値：<u>延べ2,606</u>人（令和3年度）</p> <p>立地助成事業の認定件数 現状値：<u>42</u>件（令和3年度） 目標値：<u>30</u>件/年</p>	<p>区内宿泊施設の宿泊者数 現状値：<u>171</u>万人（令和元年度） <u>105</u>万人（令和3年度） 目標値：<u>175</u>万人（令和8年度）</p>	<p>【目標設定根拠】 新型コロナウイルス感染症の拡大前である令和元年度宿泊数約171万人と同水準の利用者数を見込んだ目標</p> <p>【引用した計画類】 大田区観光振興プラン2019-2023 第2期大田区まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p>【目標達成で得られる便益】 ・周辺飲食店などに広く経済効果が波及</p>
<p>新製品・新技術コンクール表彰件数 現状値：<u>9</u>件（令和4年度） 目標値：<u>9</u>件（令和5年度）</p> <p>トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成件数 現状値：<u>16</u>件（令和3年度） 目標値：<u>12</u>件（令和5年度）</p>	<p>HiCityにおける企業交流数 現状値：<u>5</u>件/年（令和2年度） 目標値：<u>15</u>件/年（令和8年度）</p>	<p>【目標設定根拠】 HiCityの事業をきっかけに『企業同士の実証実験』『共同研究の開始』など具体的事例が現状より多く生まれることを目指し設定した目標</p> <p>【引用した計画類】 第2期大田区まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p>【目標達成で得られる便益】 ・区内企業との協業等による企業同士の交流の加速 ・新たなイノベーションの創出 ・区内経済の活性化</p>

視点2 都市の発展を牽引する産業環境

■事業実績

過去20年間で大田区工場アパート立地助成事業を活用し整備した工場アパートのユニット数

現状値：39件（令和3年度）
目標値：200件（令和24年度）

【再掲】立地助成事業の認定件数

現状値：42件（令和3年度）
目標値：30件/年

産業支援施設の整備数（区設区営、区設民営）

現状値：109件（令和3年度）

■政策指標

●製造品出荷額

現状値：4,424億円（令和元年度）
目標値：5,000億円以上（令和8年度）

●大田区内従業者数

現状値：349,551人（平成28年度）
目標値：360,000人（令和8年度）

■政策指標の解説

【目標設定根拠】

●製造品出荷額
過去の推移及び区の実績に伴い見込む成果を踏まえて設定した目標

●大田区内従業者
産業集積の持続的な維持・発展を念頭に、平成26年の値（359,410人）を目指すとして設定した目標

【引用した計画類】

第2期大田区まち・ひと・しごと創生総合戦略

【目標達成で得られる便益】

・「工業」「商業」をはじめとする多様な区内産業の持続的発展

視点3 来街者も円滑に移動できる交通環境

■事業実績	■政策指標	■政策指標の解説
<p>新空港線の整備 現状：整備主体の設立（令和4年度） 目標：整備着手（令和8年度）</p> <p>補助28号線（池上通り）・大森駅西口広場の整備 現状：都市計画決定・告示（令和3年度） 目標：用地取得着手（令和8年度）</p> <p>都市計画道路の整備延長 現状値：52.87km（令和4年4月） 目標値：55.86km</p>	<p>主要駅（大森駅、JR蒲田駅、東急蒲田駅、京急蒲田駅）における年間乗車数 現状値：93,618千人（令和2年度） 目標値：108,294千人（令和8年度）</p>	<p>【目標設定根拠】 新型コロナウイルス感染症の拡大により減った乗車数は、テレワーク等の普及により従前までは戻らないと仮定して設定した令和8年度の見込乗車数に対して、区の実績成果として4駅合計で5,500人/日×365日の増となることを目指して設定した目標</p> <p>【引用した計画類】 第2期大田区まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p>【目標達成で得られる便益】 ・「暮らす、働く、訪れる」といった様々な活動によるにぎわいと交流ある都市環境の実現</p>
	<p>【参考指標】 生活環境の満足度「交通の便」 現状値：78.1%（令和3年度） 目標：継続的に向上傾向</p>	<p>【目標設定根拠】 現状よりも交通の便に満足する区民の割合を増やすことを目指して設定した目標</p> <p>【引用した計画類】 なし</p> <p>【目標達成で得られる便益】 ・円滑に移動できる交通環境の進展により、様々な人々の交流が促進</p>

視点4 多様なライフスタイルに対応できる良好な住環境

■事業実績	■政策指標	■政策指標の解説
<p>区立公園の数 現状値：<u>546</u>件（令和4年4月）</p> <p>中小企業者賃貸住宅の入居者数 現状値：<u>19</u>件（令和3年度） 目標値：<u>20</u>件（令和4年度）</p> <p>UD合同点検の実施回数 現状値：<u>5</u>件（令和3年度）</p> <p>公園の運動施設の稼働率 現状値：<u>58.6</u>%（令和3年度）</p> <p>スポーツ施設（大森スポーツセンター・大田スタジアム・大田区総合体育館）の年間利用者数 現状値：<u>314,123</u>人（令和3年度）</p>	<p>【参考指標】 若い世代（10・20～30代）における定住意向 現状値：<u>74.5</u>%（令和3年度） 目標値：<u>80.9</u>%（令和8年度）</p>	<p>【目標設定根拠】 H26～R3間の最大値であるH27の78.6%を達成したうえで、過去の推移と区の実績による数値の上昇を見込んで算出した目標</p> <p>【引用した計画類】 第2期大田区まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p>【目標達成で得られる便益】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯に選ばれるまちの実現 まちの活性化や活力ある地域の維持
	<p>ユニバーサルデザインの認知度 現状値：<u>18.6</u>%（平成29年度） 目標値：<u>25</u>%（令和5年度）</p>	<p>【目標設定根拠】 現状値を踏まえ、令和5年度までに達成を目指す目標値として設定</p> <p>【引用した計画類】 大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針アクションプランVer.2</p> <p>【目標達成で得られる便益】</p> <ul style="list-style-type: none"> UDの考え方の浸透 誰もが安心して快適にすごせるまちの実現
	<p>成人の週1回以上のスポーツ実施率 現状値：<u>64.6</u>% 目標値：<u>65</u>%</p>	<p>【目標設定根拠】 国の目標値（第2期スポーツ基本計画）を踏まえ、区も同じ水準を目指して設定した目標</p> <p>【引用した計画類】 大田区スポーツ推進計画（改定版）</p> <p>【目標達成で得られる便益】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民の健康の維持増進

視点5 様々な移動手段を選択できる地域交通

■事業実績	■政策指標	■政策指標の解説
<p>ホームドア・ホーム柵の設置駅 ※一部設置含む 現状値：<u>34駅/43駅</u>（令和3年度末）</p> <p>コミュニティサイクルポート数 現状値：<u>126箇所</u>（令和4年度11月末）</p>	<p>交通事故発生件数 現状値：<u>1,400件</u>（令和3年） 目標値：<u>1,100件</u>（令和7年）</p>	<p>【目標設定根拠】 第10次交通安全計画期間の交通事故減少率を維持して算出した目標</p> <p>【引用した計画類】 第11次大田区交通安全計画</p> <p>【目標達成で得られる便益】 ・より安全で快適な社会の実現</p>
<p>自転車ナビマーク・ナビラインの認知度 現状値：<u>78.3%</u>（令和3年度）</p> <p>【再掲】都市計画道路の整備延長 現状値：<u>52.87km</u>（令和4年4月） 目標値：<u>55.86km</u></p>	<p>【参考指標】 【再掲】生活環境の満足度「交通の便」 現状値：<u>78.1%</u>（令和3年度） 目標：<u>継続的に向上傾向</u></p>	<p>【目標設定根拠】 現状よりも交通の便に満足する区民の割合を増やすことを目指して設定した目標</p> <p>【引用した計画類】 なし</p> <p>【目標達成で得られる便益】 ・円滑に移動できる交通環境の進展により、様々な人々の交流が促進</p>

視点6 強靱で回復しやすい減災都市

■ 事業実績	■ 政策指標	■ 政策指標の解説
<p>無電柱化整備延長 現状値：<u>13.47</u>km（令和2年度末） 目標値：<u>20.79</u>km（令和12年度） ※整備には、測量・調査・設計等を含む</p>	<p>無電柱化率 現状値：<u>1.7</u>%（令和3年度） 目標値：<u>2.7</u>%（令和13年度）</p>	<p>【目標設定根拠】 優先整備路線及び事業中の路線の整備予定延長を基に算出した目標</p> <p>【引用した計画類】 大田区無電柱化推進計画</p> <p>【目標達成で得られる便益】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市防災機能の強化 安全で快適な歩行空間の確保 良好な都市景観の創出
<p>都市防災不燃化促進事業の助成件数 現状値：<u>119</u>件（令和3年度時点累計）</p> <p>不燃化特区助成件数 現状値：<u>233</u>件（令和3年度時点累計）</p> <p>耐震改修・除却助成件数 現状値：<u>267</u>件（令和3年度）</p>	<p>不燃領域率 大森中地区（西糞谷・東蒲田・大森中） 現状値：<u>61.8</u>%（R1） 目標値：<u>69.9</u>%（R7時点） 羽田二・三・六丁目地区 現状値：<u>43.7</u>%（R1） 目標値：<u>51.8</u>%（R7時点） 補助29号線沿道地区（大田区） 現状値：<u>43.4</u>%（R1） 目標値：<u>49.9</u>%（R7時点）</p> <p>最終目標値：不燃領域率70%</p>	<p>【目標設定根拠】 不燃領域率が70%に達することで延焼による建物の焼失率が概ね0%になるものとして設定した目標</p> <p>【引用した計画類】 東京都防災都市づくり推進計画</p> <p>【目標達成で得られる便益】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地の延焼被害の防止
<p>耐震コンサルタント派遣件数 現状値：<u>258</u>件（令和3年度）</p>	<p>住宅の耐震化率 現状値：<u>91.0</u>%（令和2年度） 目標値：<u>概ね解消</u>（令和7年度）</p>	<p>【目標設定根拠】 耐震性が不十分な住宅を概ね解消することで地震被害を大幅に減ずるとして設定した目標</p> <p>【引用した計画類】 大田区耐震改修促進計画</p> <p>【目標達成で得られる便益】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震による建物倒壊の防止

視点7 様々な活動に支えられた安全・安心な都市

■ 事業実績	■ 政策指標	■ 政策指標の解説
<p>町会自治会等における自主防災組織結成率 現状値：<u>98.6%</u>（令和3年度）</p> <p>区HP「大田区簡易版BCPシート」における各シート等のダウンロード件数 現状値：<u>4,700件</u>（令和4年度） 目標値：<u>5,330件</u>（令和8年度）</p>	<p>ハザードマップを確認した区民の割合 現状値：<u>46.7%</u>（令和3年度） 目標値：<u>55.0%</u>（令和8年度）</p>	<p>【目標設定根拠】 マイ・タイムライン講習会等の普及啓発活動による増加を見込んで設定した目標</p> <p>【引用した計画類】 大田区国土強靱化地域計画</p> <p>【目標達成で得られる便益】 ・地域の災害リスクについての理解の深度化 ・家庭や地域内の防災意識の向上</p>
<p>事前復興活動の実施地区数 現状値：<u>0地区</u>（令和4年度） 目標値：<u>1地区/年</u></p> <p>防犯灯（私道）のLED設置(基)数/整備率 現状値：<u>2,658基/35.2%</u>（令和3年度） 目標値：<u>7,544基/100%</u>（令和7年度）</p>	<p>防災アプリの登録者数 現状値：<u>34,222人</u>（令和4年12月1日） 目標値：<u>65,000人</u>（令和8年）</p>	<p>【目標設定根拠】 「東京都防災アプリ」の年間ダウンロード数増加率を参考として設定した目標</p> <p>【引用した計画類】 大田区国土強靱化地域計画</p> <p>【目標達成で得られる便益】 ・震災、風水害、土砂災害等に関するハザード情報の迅速な取得</p>
<p>一時滞在施設数（蒲田駅周辺） 現状値：<u>5件</u>（令和4年度）</p> <p>帰宅困難者対策に係る協定件数（蒲田駅周辺） 現状値：<u>2件</u>（令和4年度）</p>	<p>中小企業におけるBCP策定率 現状値：<u>22.4%</u>（令和4年度） 目標値：<u>30.0%</u>（令和8年度）</p>	<p>【目標設定根拠】 令和12年度までに40%の策定率を目指すにあたり、過去2回の「中小企業の景況」特別調査における調査結果（策定率）を基に設定した令和8年度時点の目標</p> <p>【引用した計画類】 なし</p> <p>【目標達成で得られる便益】 ・災害の発生など、非常事態が発生した際の区内企業の迅速な復旧</p>

視点8 オープンスペースを活かした防災都市

■事業実績	■政策指標	■政策指標の解説
<p>【再掲】区立公園の数 現状値：546件（令和4年4月）</p> <p>福祉避難所数（保育園） 現状値：32園（令和4年度）</p> <p>心急保育所指定園の施設数 現状値：4園（令和4年度）</p>	<p>暮らしを支える身近な公園の充足度 現状値：97%（令和2年） 目標値：100%（令和12年）</p> <p>最終目標値：100%</p>	<p>【目標設定根拠】 区内全域において、自宅から250m以内に1か所以上の公園が確保されることを目指して設定した目標</p> <p>【引用した計画類】 大田区緑の基本計画グリーンプランおおた</p> <p>【目標達成で得られる便益】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 雨水浸透機能の拡充による水害発生リスクの低減 • 延焼防止空間の確保による、災害に強いまちの形成 • 安全な一時避難場所や避難路の確保

視点9 水と緑のネットワークによる安らぎのある都市

■ 事業実績	■ 政策指標	■ 政策指標の解説
<p>散策路の整備延長 現状値：<u>22,435m</u>（令和4年度）</p> <p>保護樹木・保護緑地の指定状況 現状値：<u>1,162件</u>（令和3年度）</p>	<p>【参考指標】 「緑の多さに満足している」と答えた区民の割合 現状値：<u>62.1%</u>（令和3年） 目標値：<u>70%</u>（令和12年）</p>	<p>【目標設定根拠】 平成20年度から令和3年度は7.7%上昇しており、令和4年度から令和12年度も同程度の上昇を目指して設定した目標</p> <p>【引用した計画類】 大田区緑の基本計画グリーンプランおおた</p> <p>【目標達成で得られる便益】 ・みどりのまちづくりの進展</p>
<p>屋上緑化・壁面緑化助成件数 現状値：<u>0件</u>（令和3年度）</p> <p>緑のカーテン講習会、緑の講演会への参加者数 現状値：<u>42人</u>（令和3年度）</p>	<p>緑被率 現状値：<u>18.32%</u>（平成30年） 目標値：<u>21.5%</u>（令和12年）</p>	<p>【目標設定根拠】 過去の実績（公園緑地の整備量（H11～H20）＋開発指導の緑化実績（S57～H17））を踏まえて設定した目標</p> <p>【引用した計画類】 大田区緑の基本計画グリーンプランおおた</p> <p>【目標達成で得られる便益】 ・緑あふれる憩いの場所の創出 ・こころ豊かに住み続けられるまちの実現</p>

視点10 持続可能な社会の基盤となる脱炭素化が進む都市

■事業実績

庁有車（乗用車）の電動車率
 現状値：47.7%（令和3年度）
 目標値：100%（令和12年度）

区内の公園・緑地等の面積
 現状値：305.7ha（令和2年4月）

公共施設におけるZEB基準の導入施設数
 現状値：1件（令和4年度）
 目標値：6件（令和14年度累計）

公共施設における太陽光発電設備の導入数
 現状値：26件（令和4年度）
 目標値：40件（令和14年度累計）

低炭素建築物の認定件数
 現状値：125件（令和3年度）

■政策指標

大田区の温室効果ガス排出量
 基準値：3,455千t-CO₂（平成25年度）
 現状値：3,023千t-CO₂（令和元年度）
 目標値：1,756千t-CO₂（令和12年度）

最終目標値：実質ゼロにまで削減（2050年）

■政策指標の解説

【目標設定根拠】
 2050年度の排出量を実質ゼロと設定し、逆算して設定した目標

【引用した計画類】
 大田区環境アクションプラン

【目標達成で得られる便益】

- ・地球温暖化のスピードの抑制
- ・気候変動の影響による自然災害や健康被害、生態系破壊等の防止